

「UCDAアワード2012」

選考結果報告会を開催



帳票やパンフレット、ウェブページなどをデザイン
の視点で評価する「UCDAアワード」を主催する一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（理事長／福田泰弘、以下UCDA）は2日に「UCDAアワード2012」選考結果報告会を霞山会館で開催した。参加者は350人以上と盛況な報告会となった。

参加者350人以上と盛況に

「UCDAアワード2012」に選ばれたのは、生命保険では東京海上日動あんしん生命、損害保険では三井住友海上火災保険、新たに加わった投資信託では大和投資信託委託、OTC医薬品では武田薬品工業の5社。また、各部門賞は、投資信託では、「情報のわかりやすさ賞」は三菱UFJ投信、「情報の充実度賞」は日興アセットマネジメントと野村アセットマネジメント、「特別賞」は新光投信と大和住銀投信投資顧問が受賞した。投資信託は、これまで運用成績の評価は

あるが、募集パンフレットの分かりやすさからの視点
は初めて。投信業界にとつても、今後の展開が注目される。
報告会では、理事長あいさつ、基調講演、各賞発表と授与式、講評、各部門別総括報告が行なわれた。最後に全体総括では、UCDA副理事長・事務局長の八杉淳一氏が、UCDAアワードを通じた議論を踏まえ、共通化できるものは共通化して、各社が同じルールで生活者と向き合えるようになることを今後の目標にしたいと語った。